

専任教員の実務経験

氏 名	資 格 ・ 実 務 経 験	教 育 科 目
小 濱 公次	あん摩マッサージ指圧師・はり師・きゅう師 あん摩マッサージ指圧師はり師きゅう師 養成施設教員資格 病院または施術所における臨床5年以上 週1回学外臨床参加 JSSR認定トレーナー	東洋医学概論 メディカルトレーナー概論・実技 病理学 生理学Ⅱ 臨床はり・きゅう実技Ⅲ（古典鍼灸） はり・きゅう総合Ⅵ
住 吉 光輝	はり師・きゅう師 はり師きゅう師養成施設教員資格 JAA認定アロマコーディネーター／インストラクター 病院または施術所における臨床5年以上 週1回学外臨床参加 全日本鍼灸マッサージ師会 正会員 鹿児島県鍼灸マッサージ師会 正会員	はり・きゅう理論Ⅰ 経絡経穴概論Ⅰ 基礎はり実技 アロマセラピー概論・実技 はり・きゅう理論Ⅱ 経絡経穴概論Ⅱ 臨床はり・きゅう実技Ⅱ 東洋医学臨床論Ⅲ 臨床実習
原 奈摘美	はり師・きゅう師 はり師きゅう師養成施設教員資格 JAA認定アロマコーディネーター／インストラクター 病院または施術所における臨床5年以上 週1回学外臨床参加 全日本鍼灸マッサージ師会 正会員 鹿児島県鍼灸マッサージ師会 正会員	衛生学 基礎きゅう実技 アロマセラピー概論・実技 東洋医学臨床論Ⅰ 臨床はり・きゅう実技Ⅱ 臨床実習 はり・きゅう総合Ⅳ はり・きゅう総合Ⅵ
崎野 雄樹	はり師・きゅう師 はり師きゅう師養成施設教員資格 病院または施術所における臨床5年以上 週1回学外臨床参加 JSSR認定トレーナー	臨床医学総論Ⅰ メディカルトレーナー概論・実技 臨床医学総論Ⅱ リハビリテーション医学 生態観察 臨床はり・きゅう実技Ⅰ（トリガーポイント療法） 解剖学Ⅱ 病態生理学 はり・きゅう総合Ⅲ
益 山 智哉	はり師・きゅう師 はり師きゅう師養成施設教員資格 病院または施術所における臨床5年以上 週1回学外臨床参加 日本鍼灸師会 正会員 鹿児島県鍼灸師会 正会員	生理学Ⅰ 応用はり・きゅう実技Ⅰ 関係法規 社会保障制度と倫理 はり・きゅう総合Ⅱ はり・きゅう総合Ⅴ
萬 福 秀則	あん摩マッサージ指圧師・はり師・きゅう師 あん摩マッサージ指圧師はり師きゅう師 養成施設教員資格 病院または施術所における臨床5年以上	臨床医学各論Ⅱ

はり・きゅう学科(2年生)

専門課程(医療分野)

教育課程及び授業時数									
分野・区分		科目	規定 単位	計 画 単位(時間)	1学年 単位(時間)	2学年 単位(時間)	3学年 単位(時間)	実務	
基礎 分野	科学的思考の基盤 人間と生活	医療心理学 *1	14	2 (30)	2 (30)				
		情報科学概論		2 (30)	2 (30)				
		医療英語		4 (60)	4 (60)				
		保健体育		2 (60)	2 (60)				
		経営学概論		4 (60)	4 (60)				
小 計			14	14 (240)	14 (240)				
専 門 基 礎 分 野	人体の構造と機能	解剖学Ⅰ	14	4 (120)	4 (120)				
		解剖学Ⅱ		2 (60)			2 (60)	○	
		生理学Ⅰ		4 (120)	4 (120)			○	
		生理学Ⅱ		2 (60)			2 (60)	○	
		人体構造学		1 (30)		1 (30)			
		運動学		1 (30)		1 (30)			
	疾病の成り立ち、 予防及び回復の促進	病理学	12	2 (60)		2 (60)		○	
		臨床医学総論Ⅰ		1 (30)	1 (30)			○	
		臨床医学総論Ⅱ		1 (30)		1 (30)		○	
		臨床医学各論Ⅰ		2 (60)		2 (60)			
		臨床医学各論Ⅱ		2 (60)			2 (60)	○	
		リハビリテーション医学		2 (60)		2 (60)		○	
	保健医療福祉と はり及びきゅうの理念	衛生学	3	2 (60)	2 (60)			○	
		関係法規		1 (30)			1 (30)	○	
		医療概論		1 (30)			1 (30)		
		社会保障制度と倫理		1 (30)			1 (30)	○	
	小 計			29	29 (870)	11 (330)	9 (270)	9 (270)	
	専 門 分 野	基礎はり学 基礎きゅう学	はり・きゅう理論Ⅰ	10	1 (30)	1 (30)			○
			はり・きゅう理論Ⅱ		1 (30)		1 (30)		○
東洋医学概論			4 (120)		4 (120)			○	
経絡経穴概論Ⅰ			2 (60)		2 (60)			○	
経絡経穴概論Ⅱ			2 (60)			2 (60)		○	
病態生理学			1 (30)				1 (30)	○	
臨床はり学 臨床きゅう学		生態観察	13	2 (60)		2 (60)		○	
		東洋医学臨床論Ⅰ		4 (120)		4 (120)		○	
		東洋医学臨床論Ⅱ *2		4 (120)		4 (120)			
		東洋医学臨床論Ⅲ		2 (60)			2 (60)	○	
		はり・きゅう応用学		2 (60)		2 (60)			
社会はり学 社会きゅう学			2	2 (60)		2 (60)			
実 習		基礎はり実技	16	2 (60)	2 (60)				○
		基礎きゅう実技		2 (60)	2 (60)				○
		応用はり・きゅう実技Ⅰ		2 (60)		2 (60)			○
		応用はり・きゅう実技Ⅱ		2 (60)		2 (60)			
		臨床はり・きゅう実技Ⅰ(トリガーポイント療法)		2 (60)		2 (60)		○	
		臨床はり・きゅう実技Ⅱ *3		4 (120)		4 (120)		○	
		臨床はり・きゅう実技Ⅲ(古典鍼灸)		2 (60)			2 (60)	○	
臨 床 実 習		臨床実習	4	4 (180)			4 (180)	○	
総 合 領 域		はり・きゅう総合Ⅰ	10	1 (30)			1 (30)		
		はり・きゅう総合Ⅱ		1 (30)			1 (30)	○	
		はり・きゅう総合Ⅲ		1 (30)			1 (30)	○	
	はり・きゅう総合Ⅳ	1 (30)				1 (30)	○		
	はり・きゅう総合Ⅴ	1 (30)				1 (30)	○		
	はり・きゅう総合Ⅵ *4	1 (30)				1 (30)	○		
	美容鍼灸	2 (60)				2 (60)			
	スポーツ鍼灸	2 (60)				2 (60)			
小 計			55	55 (1710)	11 (330)	25 (750)	19 (630)		
合 計			98	98 (2820)	36 (900)	34 (1020)	28 (900)		

*1 コミュニケーション含む *2 はり及びきゅうの適応の判断含む *3 臨床実習前試験含む *4 はり及びきゅうの歴史含む

【はり師及びきゅう師に係る学校養成施設認定規則外に定める授業科目以外の履修科目】

科目区分	授業科目	規定 単位	計 画 単位(時間)	1学年 単位(時間)	2学年 単位(時間)	3学年 単位(時間)	実務
アロマセラピー	アロマセラピー概論	—	2 (30)	2 (30)			○
	アロマセラピー実技						○
メディカルトレーナー	メディカルトレーナー概論	—	2 (30)	2 (30)			○
	メディカルトレーナー実技						○
小 計		—	4 (60)	4 (60)			

科目名: 人体構造学(前期)

授業形態: 講義

担当教員: 大竹 秀信

1単位

【授業概要】 人体の形態と構造を学び、健康と病気の成り立ちを理解するための基盤を形成することを目的とする。
神経・感覚器系の組織学および肉眼解剖学レベルでの構造・名称・機能を学ぶ。

【到達目標】 神経・感覚器系における主要部位の名称・構造の理解と刺激を伝える各伝導路のイメージを深める。

【授業の進め方】

回数	授 業 内 容	担当教員
1	神経系概論	大竹
2	神経系の構造、中枢神経系(脊髄、延髄、橋、中脳)	大竹
3	中枢神経系(橋、中脳、小脳)	大竹
4	中枢神経系(間脳、大脳)	大竹
5	中枢神経系(大脳、脳室系)	大竹
6	中枢神経系(髄膜、髄液、脳血管)	大竹
7	伝導路	大竹
8	末梢神経系(脳神経)	大竹
9	末梢神経系(脳神経)	大竹
10	末梢神経系(脊髄神経)上肢	大竹
11	末梢神経系(脊髄神経)下肢	大竹
12	末梢神経系(自律神経系)	大竹
13	視覚器	大竹
14	平衡聴覚器	大竹
15	味覚器、嗅覚器	大竹
16	定期試験	大竹

【授業外学修】 予習:講義に臨む前に、該当する教科書・資料等をしっかり読んでおくこと。(約1時間)

復習:授業内容を整理し、理解する振り返りを行うこと。(約1時間)

【教科書名】 「解剖学」(医歯薬出版) 「からだの地図帳 解剖学用語」(講談社)

【参考図書】 「カラー人体解剖学」(西村図書)

【評価基準】 定期試験100%

科目名: 運動学(後期)

授業形態: 講義

担当教員: 大竹 秀信

1単位

【授業概要】 身体運動のメカニズムを理解し、運動器疾患の成り立ちを理解するための基盤を形成することを目的とする。

【到達目標】 人体の基本的な運動に用いられる筋・関節の働きを理解する。
東洋医学的手法に応用できる運動学的理論と手技を身につける。

【授業の進め方】

回数	授 業 内 容	担当教員
1	人体における基礎物理学:力と質量と加速度	大竹
2	人体における基礎物理学:速度と距離と時間	大竹
3	人体における基礎物理学:位置エネルギー	大竹
4	基礎運動学:立位姿勢保持	大竹
5	基礎運動学:立位姿勢保持	大竹
6	基礎運動学:歩行	大竹
7	基礎運動学:歩行	大竹
8	応用運動学:運動連鎖	大竹
9	応用運動学:運動連鎖	大竹
10	応用運動学:高齢者の機能訓練	大竹
11	応用運動学:高齢者の機能訓練	大竹
12	応用運動学:高齢者の機能訓練	大竹
13	応用運動学:東洋医学的手法への応用	大竹
14	応用運動学:東洋医学的手法への応用	大竹
15	応用運動学:東洋医学的手法への応用	大竹
16	定期試験	大竹

【授業外学修】 予習:講義に臨む前に、該当する教科書・資料等をしっかり読んでおくこと。(約1時間)

復習:授業内容を整理し、理解する振り返りを行うこと。(約1時間)

【教科書名】 配布資料

【参考図書】

【評価基準】 定期試験100%

科目名: 病理学(前期)

授業形態: 講義

担当教員: 小濱 公次

通年2単位

【授業概要】 正常な解剖学、生理学の話を交えながら、病的な状態の特徴を説明する。

【到達目標】 病理学を体系的に学び、様々な分野で応用できるようになる。また、国家試験にも対応できるようになる。

【授業の進め方】

回数	授 業 内 容	担当教員
1	疾病の一般、疾病の概念、疾病の分類	小濱
2	病因①(内因:内分泌疾患)	小濱
3	病因②(外因:栄養障害、生物学的因子)	小濱
4	病因③(外因:感染、物理的因子、化学的因子)	小濱
5	免疫異常・アレルギー①(免疫のメカニズム)	小濱
6	免疫異常・アレルギー②(アレルギー)	小濱
7	免疫異常・アレルギー③(免疫不全)	小濱
8	炎症①(炎症の一般)	小濱
9	炎症②(炎症の分類)	小濱
10	炎症③(特徴的な炎症性疾患)	小濱
11	進行性病変①(再生、化生)	小濱
12	進行性病変②(肥大、増殖)	小濱
13	進行性病変③(創傷治癒、組織内異物の処理、移植)	小濱
14	復習①	小濱
15	復習②	小濱
16	定期試験	小濱

【授業外学修】 予習:講義に臨む前に、該当する教科書・資料等をしっかり読んでおくこと。(約1時間)

復習:授業内容を整理し、理解する振り返りを行うこと。(約1時間)

【教科書名】 「病理学概論」(医歯薬出版)

【参考図書】 「「病気がみえる」シリーズ」(メディックメディア)

【評価基準】 定期試験100%

【実務経験】 あん摩マッサージ指圧師はり師きゅう師養成施設教員資格、病院または施術所における臨床5年以上、週1回学外臨床参加

科目名: 病理学(後期)

授業形態: 講義

担当教員: 小濱 公次

【授業概要】 正常な解剖学、生理学の話を交えながら、病的な状態の特徴を説明する。

【到達目標】 病理学を体系的に学び、様々な分野で応用できるようになる。また、国家試験にも対応できるようになる。

【授業の進め方】

回数	授 業 内 容	担当教員
1	退行性病変①(萎縮、変性)	小濱
2	退行性病変②(変性:黄疸、その他)	小濱
3	退行性病変③(壊死と死)	小濱
4	循環障害①(虚血、梗塞)	小濱
5	循環障害②(血栓症、塞栓症)	小濱
6	循環障害③(出血、充血、うっ血、浮腫、ショック)	小濱
7	腫瘍①(腫瘍の一般)	小濱
8	腫瘍②(良性腫瘍と悪性腫瘍)	小濱
9	腫瘍③(悪性腫瘍)	小濱
10	腫瘍④(悪性腫瘍)	小濱
11	先天性異常①(遺伝)	小濱
12	先天性異常②(染色体異常)	小濱
13	先天性異常③(奇形)	小濱
14	復習①	小濱
15	復習②	小濱
16	定期試験	小濱

【授業外学修】 予習:講義に臨む前に、該当する教科書・資料等をしっかり読んでおくこと。(約1時間)

復習:授業内容を整理し、理解する振り返りを行うこと。(約1時間)

【教科書名】 「病理学概論」(医歯薬出版)

【参考図書】 「「病気がみえる」シリーズ」(メディックメディア)

【評価基準】 定期試験100%

【実務経験】 あん摩マッサージ指圧師はり師きゅう師養成施設教員資格、病院または施術所における臨床5年以上、週1回学外臨床参加

科目名： 臨床医学総論Ⅱ（前期）

授業形態：講義

担当教員：崎野 雄樹

1単位

【授業概要】 西洋医学の基本的診察法とその病態の疾患を学ぶ。

【到達目標】 西洋医学的な知識を勉強し、他の医療者との意思疎通が図れるようになる。
鍼灸治療の適応・不適応を判断できるようになる。

【授業の進め方】

回数	授 業 内 容	担当教員
1	臨床検査法（一般検査①）	崎野
2	臨床検査法（一般検査②）	崎野
3	臨床検査法（血液検査）	崎野
4	臨床検査法（血液生化学検査①）	崎野
5	臨床検査法（血液生化学検査②）	崎野
6	臨床検査法（血液生化学検査③）	崎野
7	臨床検査法（画像診断①）	崎野
8	臨床検査法（画像診断②）	崎野
9	神経系の診察（脳神経・髄膜刺激症状検査）	崎野
10	神経系の診察（反射検査）	崎野
11	神経系の診察（感覚検査）	崎野
12	運動機能検査（運動麻痺・筋肉の異常・不随意運動）	崎野
13	運動機能検査（協調運動・歩行）	崎野
14	運動機能検査（整形外科的検査法）	崎野
15	その他の診察（救急時の診察）	崎野
16	定期試験	崎野

【授業外学修】 予習：講義に臨む前に、該当する教科書・資料等をしっかり読んでおくこと。（約1時間）

復習：授業内容を整理し、理解する振り返りを行うこと。（約1時間）

【教科書名】 「臨床医学総論」「整形外科テストポケットマニュアル 臨床で使える徒手の検査法86」（医歯薬出版）

【参考書名】

【評価基準】 定期試験100%

【実務経験】 はり師きゅう師養成施設教員資格、病院または施術所における臨床5年以上、週1回学外臨床参加

科目名: 臨床医学各論Ⅰ(前期)

授業形態: 講義

担当教員: 川畑 亜矢子

通年2単位

【授業概要】 鍼灸臨床においては、慢性疾患をはじめ多様な基礎疾患、合併症を持つ患者にあたることが想定される。また、患者への医療情報の提供を行う場合も予想される。これらに対し、正確な医療知識を習得する。

【到達目標】 解剖学・生理学・病理学を踏まえ、各疾患を組織・細胞レベルで理解し、他人に説明できるようになる。

【授業の進め方】

回数	授 業 内 容	担当教員
1	感染症 総論、細菌感染症	川畑
2	感染症 ウイルス感染症、性感染症	川畑
3	消化管疾患 口腔疾患、食道疾患	川畑
4	消化管疾患 胃・十二指腸疾患	川畑
5	消化管疾患 腸疾患、腹膜疾患	川畑
6	肝・胆・膵疾患 肝臓疾患	川畑
7	肝・胆・膵疾患 胆道疾患	川畑
8	肝・胆・膵疾患 膵臓疾患	川畑
9	呼吸器疾患 感染症呼吸器疾患、閉塞性呼吸器疾患	川畑
10	呼吸器疾患 拘束性呼吸器疾患、その他の呼吸器疾患	川畑
11	腎・泌尿器疾患 原発性糸球体腎炎、腎不全、感染症	川畑
12	腎・泌尿器疾患 腫瘍性疾患、結石症、前立腺疾患	川畑
13	内分泌疾患 下垂体疾患、甲状腺疾患	川畑
14	内分泌疾患 副腎疾患	川畑
15	総 括	川畑
16	定期試験	川畑

【授業外学修】 予習:講義に臨む前に、解剖学・生理学の復習を行っておくこと。(約1時間)

復習:授業内容を整理し、理解する振り返りを行うこと。(約1時間)

【教科書名】 「臨床医学各論」「臨床医学総論 臨床医学各論 追加資料」(医歯薬出版) 「からだが見える」(メディックメディア)

【参考図書】 「「病気がみえる」シリーズ」(メディックメディア) 「解剖学」「生理学」(医歯薬出版)

【評価基準】 定期試験100%

科目名: 臨床医学各論Ⅰ(後期)

授業形態: 講義

担当教員: 川畑 亜矢子

【授業概要】 鍼灸臨床においては、慢性疾患をはじめ多様な基礎疾患、合併症を持つ患者にあたることが想定される。また、患者への医療情報の提供を行う場合も予想される。これらに対し、正確な医療知識を習得する。

【到達目標】 解剖学・生理学・病理学を踏まえ、各疾患を組織・細胞レベルで理解し、他人に説明できるようになる。

【授業の進め方】

回数	授 業 内 容	担当教員
1	代謝・栄養疾患 糖代謝異常、脂質代謝異常	川畑
2	代謝・栄養疾患 尿酸代謝異常、その他の代謝異常	川畑
3	循環器疾患 心臓疾患	川畑
4	循環器疾患 冠動脈疾患	川畑
5	循環器疾患 動脈疾患、血圧異常	川畑
6	血液・造血器疾患 赤血球疾患、白血球疾患	川畑
7	血液・造血器疾患 リンパ球疾患、出血性素因	川畑
8	神経疾患 脳血管疾患、感染症疾患、脳・脊髄腫瘍	川畑
9	神経疾患 変性疾患、痴呆性疾患	川畑
10	神経疾患 疾患、末梢性神経性疾患	川畑
11	神経疾患 神経痛、機能性疾患	川畑
12	リウマチ性疾患・膠原病	川畑
13	その他の領域 小児科、一般外科、麻酔科	川畑
14	その他の領域 婦人科疾患、皮膚科疾患、眼科・耳鼻科・精神科疾患、心療内科	川畑
15	総 括	川畑
16	定期試験	川畑

【授業外学修】 予習:講義に臨む前に、解剖学・生理学の復習を行っておくこと。(約1時間)

復習:授業内容を整理し、理解する振り返りを行うこと。(約1時間)

【教科書名】 「臨床医学各論」「臨床医学総論 臨床医学各論 追加資料」(医歯薬出版) 「からだが見える」(メディックメディア)

【参考図書】 「「病気がみえる」シリーズ」(メディックメディア) 「解剖学」「生理学」(医歯薬出版)

【評価基準】 定期試験100%

科目名: リハビリテーション医学(前期)

授業形態: 講義

担当教員: 崎野 雄樹

通年2単位

【授業概要】 人体の正常な動作を理解し、正常な動作が行えなくなった患者に求められるリハビリテーションについて学ぶ。

【到達目標】 人体の正常な動作および病的な動きを理解し、患者のリハビリテーションの注意事項等が理解できるようになる。

【授業の進め方】

回数	授 業 内 容	担当教員
1	オリエンテーション	崎野
2	リハビリテーションと障害	崎野
3	リハビリテーション医学と医療①	崎野
4	リハビリテーション医学と医療②	崎野
5	障害(心身機能)の評価(概論・周径)	崎野
6	障害(心身機能)の評価(ROM):上肢	崎野
7	障害(心身機能)の評価(ROM):体幹・下肢	崎野
8	障害(心身機能)の評価(MMT):上肢	崎野
9	障害(心身機能)の評価(MMT):体幹・下肢	崎野
10	障害(活動・参加・合併症・その他)の評価	崎野
11	医学的リハビリテーション(理学療法)	崎野
12	医学的リハビリテーション(作業療法・言語聴覚療法)	崎野
13	医学的リハビリテーション(補装具療法・看護・ソーシャルワーク・リハビリテーション工学)	崎野
14	運動のしくみ(運動学の基礎・姿勢とその異常)	崎野
15	正常歩行と異常歩行	崎野
16	定期試験	崎野

【授業外学修】 予習:講義に臨む前に、該当する教科書・資料等をしっかり読んでおくこと。(約1時間)

復習:授業内容を整理し、理解する振り返りを行うこと。(約1時間)

【教科書名】 「リハビリテーション医学」(文光堂)

【参考図書】 「リハビリテーションビジュアルブック第2版」(学研) 「基礎運動学」(医歯薬出版)

【評価基準】 定期試験100%

【実務経験】 はり師きゅう師養成施設教員資格、病院または施術所における臨床5年以上、週1回学外臨床参加

科目名: リハビリテーション医学(後期)

授業形態: 講義

担当教員: 崎野 雄樹

【授業概要】 人体の正常な動作を理解し、正常な動作が行えなくなった患者に求められるリハビリテーションについて学ぶ。

【到達目標】 人体の正常な動作および病的な動きを理解し、患者のリハビリテーションの注意事項等が理解できるようになる。

【授業の進め方】

回数	授 業 内 容	担当教員
1	リハビリテーションの実際(脳卒中のリハビリテーション)	崎野
2	リハビリテーションの実際(脊髄損傷のリハビリテーション)	崎野
3	リハビリテーションの実際(切断のリハビリテーション)	崎野
4	リハビリテーションの実際(関節リウマチのリハビリテーション)	崎野
5	リハビリテーションの実際(パーキンソン病のリハビリテーション)	崎野
6	リハビリテーションの実際(小児のリハビリテーション)	崎野
7	リハビリテーションの実際(骨関節疾患のリハビリテーション)	崎野
8	リハビリテーションの実際(呼吸器疾患と心疾患のリハビリテーション)	崎野
9	リハビリテーションの実際(糖尿病・腎・尿路疾患のリハビリテーション)	崎野
10	リハビリテーションの実際(末梢神経障害のリハビリテーション)	崎野
11	リハビリテーションの実際(SCD・ALSのリハビリテーション)	崎野
12	リハビリテーションの実際(CSM・CDH/LDHのリハビリテーション)	崎野
13	リハビリテーションの実際(腰部脊柱管狭窄症・脊椎椎体骨折のリハビリテーション)	崎野
14	リハビリテーションの実際(がんのリハビリテーション)	崎野
15	リハビリテーションの実際(高齢者疾患のリハビリテーション)	崎野
16	定期試験	崎野

【授業外学修】 予習:講義に臨む前に、該当する教科書・資料等をしっかり読んでおくこと。(約1時間)

復習:授業内容を整理し、理解する振り返りを行うこと。(約1時間)

【教科書名】 「リハビリテーション医学」(文光堂)

【参考図書】 「リハビリテーションビジュアルブック第2版」(学研) 「基礎運動学」(医歯薬出版)

【評価基準】 定期試験100%

【実務経験】 はり師きゅう師養成施設教員資格、病院または施術所における臨床5年以上、週1回学外臨床参加

科目名： はり・きゅう理論Ⅱ（前期）

授業形態：講義

担当教員：住吉 光輝

1単位

【授業概要】 西洋医学の観点から鍼灸の治効機序を学習し、臨床に活用できる知識を習得する。

【到達目標】 西洋医学の基礎知識を習得し、鍼灸の治効機序を理解する。

【授業の進め方】

回数	授 業 内 容	担当教員
1	鍼灸治効を理解するために必要な基礎知識（関連学説）	住吉
2	鍼灸治効を理解するために必要な基礎知識（運動系の調節①）	住吉
3	鍼灸治効を理解するために必要な基礎知識（運動系の調節②）	住吉
4	鍼灸治効を理解するために必要な基礎知識（内臓系の調節①）	住吉
5	鍼灸治効を理解するために必要な基礎知識（内臓系の調節②）	住吉
6	鍼灸治効を理解するために必要な基礎知識（体性感覚①）	住吉
7	鍼灸治効を理解するために必要な基礎知識（体性感覚②）	住吉
8	鍼灸治効を理解するために必要な基礎知識（体性感覚③、内臓感覚）	住吉
9	鍼灸治効を理解するために必要な基礎知識（熱傷）	住吉
10	鍼灸治効を理解するために必要な基礎知識（体表の反応）	住吉
11	鍼灸治効機序（鍼鎮痛の概要、SIA、内因性オピオイド）	住吉
12	鍼灸治効機序（下行性痛覚抑制系、DNIC）	住吉
13	鍼灸治効機序（脊髄分節性鎮痛、末梢性鎮痛、鍼鎮痛の個人差）	住吉
14	鍼灸治効機序（循環系、運動系）	住吉
15	総 括	住吉
16	定期試験	住吉

【授業外学修】 予習：講義に臨む前に、該当する教科書・資料等をしっかり読んでおくこと。（約1時間）

復習：授業内容を整理し、理解する振り返りを行うこと。（約1時間）

【教科書名】 「はりきゅう理論」（医道の日本社） 「生理学」「病理学」（医歯薬出版）

【参考図書】

【評価基準】 定期試験100%

【実務経験】 はり師きゅう師養成施設教員資格、病院または施術所における臨床5年以上、週1回学外臨床参加

科目名: 経絡経穴概論Ⅱ(前期)

授業形態: 講義

担当教員: 住吉 光輝

通年2単位

【授業概要】 経絡の流注や経穴の部位及び特性について理解を深め、臨床に活用できる知識を習得する。

【到達目標】 各経絡の走行について理解し、正確に取穴できるようになる。また、経絡の走行や経穴の特性を考慮し、選穴ができるようになる。

【授業の進め方】

回数	授 業 内 容	担当教員
1	オリエンテーション、経絡・経穴の現代学的研究	住吉
2	奇穴①	住吉
3	奇穴②	住吉
4	奇穴③	住吉
5	鍼灸処方学①	住吉
6	鍼灸処方学②	住吉
7	鍼灸処方学③	住吉
8	経絡系統	住吉
9	手の太陰肺経・経絡系統(経絡概論、経絡病候、各種特定穴)	住吉
10	手の陽明大腸経・経絡系統(経絡概論、経絡病候、各種特定穴)	住吉
11	足の陽明胃経・経絡系統(経絡概論、経絡病候、各種特定穴)	住吉
12	足の太陰脾経・経絡系統(経絡概論、経絡病候、各種特定穴)	住吉
13	手の少陰心経・経絡系統(経絡概論、経絡病候、各種特定穴)	住吉
14	手の太陽小腸経・経絡系統(経絡概論、経絡病候、各種特定穴)	住吉
15	総 括	住吉
16	定期試験	住吉

【授業外学修】 予習:講義に臨む前に、該当する教科書・資料等をしっかり読んでおくこと。(約1時間)

復習:授業内容を整理し、理解する振り返りを行うこと。(約1時間)

【教科書名】 「新版 経絡経穴概論」(医道の日本社) 「針灸経穴辞典」(東洋学術出版社)

【参考図書】 「針灸学[臨床編]、[経穴編]」(東洋学術出版社) 「全訳 経絡学」「腧穴学」(たにぐち書店)

【評価基準】 定期試験(100%)×課題提出状況(60~100%)

【実務経験】 はり師きゅう師養成施設教員資格、病院または施術所における臨床5年以上、週1回学外臨床参加

科目名: 経絡経穴概論Ⅱ(後期)

授業形態: 講義

担当教員: 住吉 光輝

【授業概要】 経絡の流注や経穴の部位及び特性について理解を深め、臨床に活用できる知識を習得する。

【到達目標】 各経絡の走行について理解し、正確に取穴できるようになる。また、経絡の走行や経穴の特性を考慮し、選穴ができるようになる。

【授業の進め方】

回数	授 業 内 容	担当教員
1	足の太陽膀胱経絡系統(経絡概論、経絡病候、各種特定穴)	住吉
2	足の少陰腎経絡系統(経絡概論、経絡病候、各種特定穴)	住吉
3	手の厥陰心包経絡系統(経絡概論、経絡病候、各種特定穴)	住吉
4	手の少陽三焦経絡系統(経絡概論、経絡病候、各種特定穴)	住吉
5	足の少陽胆経絡系統(経絡概論、経絡病候、各種特定穴)	住吉
6	足の厥陰肝経絡系統(経絡概論、経絡病候、各種特定穴)	住吉
7	問題演習、取穴確認	住吉
8	問題演習、取穴確認	住吉
9	問題演習、取穴確認	住吉
10	問題演習、取穴確認	住吉
11	問題演習、取穴確認	住吉
12	問題演習、取穴確認	住吉
13	問題演習、取穴確認	住吉
14	問題演習、取穴確認	住吉
15	総 括	住吉
16	定期試験	住吉

【授業外学修】 予習:講義に臨む前に、該当する教科書・資料等をしっかり読んでおくこと。(約1時間)

復習:授業内容を整理し、理解する振り返りを行うこと。(約1時間)

【教科書名】 「新版 経絡経穴概論」(医道の日本社) 「針灸経穴辞典」(東洋学術出版社)

【参考図書】 「針灸学[臨床編]、[経穴編]」(東洋学術出版社) 「全訳 経絡学」「腧穴学」(たにぐち書店)

【評価基準】 定期試験(100%)×課題提出状況(60~100%)

【実務経験】 はり師きゅう師養成施設教員資格、病院または施術所における臨床5年以上、週1回学外臨床参加

科目名: 生態観察(前期)

授業形態: 講義

担当教員: 崎野 雄樹

通年2単位

【授業概要】 筋の起始停止を確認し、関節と筋の動きを把握し、鍼灸施術に応用する。

【到達目標】 鍼灸施術を行う上で、目的の筋に刺鍼できるように的確な触察能力を身につけること。

【授業の進め方】

回数	授 業 内 容	担当教員
1	骨学:下肢部(足部の骨と足部の関節)	崎野
2	骨学:下肢部(下腿の骨と足関節)	崎野
3	骨学:下肢部(大腿骨と膝関節)	崎野
4	骨学:下肢部(寛骨と股関節)	崎野
5	骨学:体幹部(仙骨と仙腸関節)	崎野
6	骨学:体幹部(脊柱の基本構造(腰椎・胸椎)と椎間関節)	崎野
7	骨学:体幹部(頸椎と頭頸部の関節)	崎野
8	骨学:上肢部(胸骨・肋骨と胸郭)	崎野
9	骨学:上肢部(肩甲骨・鎖骨と胸鎖関節・肩鎖関節)	崎野
10	骨学:上肢部(上腕骨と肩関節)	崎野
11	骨学:上肢部(橈骨・尺骨と肘関節)	崎野
12	骨学:上肢部(手の骨と手関節)	崎野
13	骨学:脳頭蓋と顔面頭蓋	崎野
14	前期の復習	崎野
15	前期の復習	崎野
16	定期試験	崎野

【授業外学修】 予習:講義に臨む前に、該当する教科書・資料等をしっかり読んでおくこと。(約1時間)

復習:授業内容を整理し、理解する振り返りを行うこと。(約1時間)

【教科書名】 配布資料 「解剖学」(医歯薬出版)

【参考図書】 「骨格筋の形と触察法」(大峰閣) 「カラー人体解剖学」(西村書店)

【評価基準】 定期試験100%

【実務経験】 はり師きゅう師養成施設教員資格、病院または施術所における臨床5年以上、週1回学外臨床参加

科目名: 生態観察(後期)

授業形態: 講義

担当教員: 崎野 雄樹

【授業概要】 筋の起始停止を確認し、関節と筋の動きを把握し、鍼灸施術に応用する。

【到達目標】 鍼灸施術を行う上で、目的の筋に刺鍼できるように的確な触察能力を身につけること。

【授業の進め方】

回数	授 業 内 容	担当教員
1	筋学:下肢部(足部・下腿部)	崎野
2	筋学:下肢部(大腿部)	崎野
3	筋学:下肢部(下肢帯周囲)	崎野
4	筋学:体幹部(腰部・腹部)	崎野
5	筋学:体幹部(胸部)	崎野
6	筋学:体幹部(頸部)	崎野
7	筋学:上肢部(上肢帯周囲)	崎野
8	筋学:上肢部(上腕部)	崎野
9	筋学:上肢部(前腕部・手部)	崎野
10	筋学:頭部・顔面部	崎野
11	神経学:下肢神経の走行	崎野
12	神経学:脊髄神経(頸神経・胸神経・腰神経)の走行	崎野
13	神経学:上肢神経の走行	崎野
14	神経学:脳神経の走行	崎野
15	後期の復習	崎野
16	定期試験	崎野

【授業外学修】 予習:講義に臨む前に、該当する教科書・資料等をしっかり読んでおくこと。(約1時間)

復習:授業内容を整理し、理解する振り返りを行うこと。(約1時間)

【教科書名】 配布資料 「解剖学」(医歯薬出版)

【参考図書】 「骨格筋の形と触察法」(大峰閣) 「カラー人体解剖学」(西村書店)

【評価基準】 定期試験100%

【実務経験】 はり師きゅう師養成施設教員資格、病院または施術所における臨床5年以上、週1回学外臨床参加

科目名: 東洋医学臨床論Ⅰ(前期)

授業形態: 講義

担当教員: 原 奈摘美

通年4単位

【授業概要】 鍼灸師として必要な、診察や評価を行うための知識を身につけ、その理論を理解し、適切な施術へ活かせるよう学習する。

【到達目標】 臨床現場において、患者に対する鍼灸の適応・不適応を判断し、適切な施術が行えるようになる。
患者の主訴(症状)に対する東洋医学的特徴を捉え弁証論治を導き、自身で施術の選択ができる力を身に付ける。

【授業の進め方】

回数	授 業 内 容	担当教員
1	治療総論・東洋医学としての鍼灸・健康医学としての鍼灸療法	原
2	弁証論治	原
3	治療原則	原
4	疼痛の性質・十二経筋	原
5	頭痛	原
6	顔面痛	原
7	関節痛	原
8	関節痛・痺症	原
9	頸肩腕痛①	原
10	頸肩腕痛②	原
11	頸肩腕痛③	原
12	上肢痛①	原
13	上肢痛②	原
14	肩関節①	原
15	肩関節②	原
16	中間試験	原
17	腰下肢痛①	原
18	腰下肢痛②	原
19	腰下肢痛③	原
20	下肢痛・膝痛①	原
21	下肢痛・膝痛②	原
22	下肢痛・膝痛③	原
23	胸痛①	原
24	胸痛②	原
25	腹痛①	原
26	腹痛②	原
27	眼精疲労	原
28	うつ状態①	原
29	うつ状態②	原
30	めまい	原
31	学習のまとめ	原
32	定期試験	原

【授業外学修】 予習:講義に臨む前に、該当する教科書・資料等をしっかり読んでおくこと。(約1時間)

復習:授業内容を整理し、理解する振り返りを行うこと。(約1時間)

【教科書名】 「新版 東洋医学臨床論くはりきゅう編」(南江堂)「新版 東洋医学概論」(医道の日本社)
「図解 スポーツ鍼灸臨床マニュアル」(医歯薬出版)

【参考図書】 「針灸学[基礎編]」(東洋学術出版社)

【評価基準】 中間試験50% 定期試験50%

【実務経験】 はり師きゅう師養成施設教員資格、病院または施術所における臨床5年以上、週1回学外臨床参加

科目名: 東洋医学臨床論Ⅰ(後期)

授業形態: 講義

担当教員: 原 奈摘美

【授業概要】 鍼灸師として必要な、診察や評価を行うための知識を身につけ、その理論を理解し、適切な施術へ活かせるよう学習する。

【到達目標】 臨床現場において、患者に対する鍼灸の適応・不適応を判断し、適切な施術が行えるようになる。
患者の主訴(症状)に対する東洋医学的特徴を捉え弁証論治を導き、自身で施術の選択ができる力を身に付ける。

【授業の進め方】

回数	授 業 内 容	担当教員
1	動悸息切れ	原
2	血圧異常①	原
3	血圧異常②	原
4	睡眠障害①	原
5	睡眠障害②	原
6	食欲不振①	原
7	食欲不振②	原
8	悪心嘔吐	原
9	便秘・下痢①	原
10	便秘・下痢②	原
11	歯痛	原
12	咳嗽・喀痰、呼吸困難①	原
13	咳嗽・喀痰、呼吸困難②	原
14	鼻汁・鼻閉①	原
15	鼻汁・鼻閉②	原
16	中間試験	原
17	排尿障害①	原
18	排尿障害②	原
19	耳鳴り・難聴①	原
20	耳鳴り・難聴②	原
21	婦人科疾患の特徴	原
22	月経異常①	原
23	月経異常②	原
24	月経異常③	原
25	小児の症状	原
26	老年医学における鍼灸療法① 老年医学の特徴	原
27	老年医学における鍼灸療法② 疾患と鍼灸治療	原
28	スポーツ医学の概要	原
29	スポーツ傷害① 上肢	原
30	スポーツ傷害② 下肢	原
31	学習のまとめ	原
32	定期試験	原

【授業外学修】 予習:講義に臨む前に、該当する教科書・資料等をしっかり読んでおくこと。(約1時間)

復習:授業内容を整理し、理解する振り返りを行うこと。(約1時間)

【教科書名】 「新版 東洋医学臨床論くはりきゅう編」(南江堂)「新版 東洋医学概論」「新版 経絡経穴概論」(医道の日本社)
「図解 スポーツ鍼灸臨床マニュアル」(医歯薬出版)

【参考図書】 「針灸学[基礎編]」(東洋学術出版社)

【評価基準】 中間試験50% 定期試験50%

【実務経験】 はり師きゅう師養成施設教員資格、病院または施術所における臨床5年以上、週1回学外臨床参加

科目名: 東洋医学臨床論Ⅱ(前期)

授業形態: 講義

担当教員: 保坂 秀樹

通年4単位

【授業概要】 各症候において実践的に臨床で使用される経穴、配穴、特効穴等を学習する。

【到達目標】 臨床実習や卒業後に治療に携わる際、患者様の主訴が鍼灸の適応か不適応かの判断ができるようになる。

【授業の進め方】

回数	授 業 内 容	担当教員
1	現代医学と鍼灸について(鍼灸の歴史・現代医学の立場からの鍼灸)	保坂
2	「疼痛」概説	保坂
3	腰下肢痛	保坂
4	腰 痛	保坂
5	下肢痛	保坂
6	頭 痛	保坂
7	顔面痛	保坂
8	胸 痛	保坂
9	腹 痛	保坂
10	眼精疲労	保坂
11	子午治療について	保坂
12	変動経絡調整法について	保坂
13	気分障害(うつ状態)	保坂
14	めまい	保坂
15	動悸・息切れ	保坂
16	中間試験	保坂
17	血圧異常	保坂
18	睡眠障害	保坂
19	食欲不振	保坂
20	肥 満	保坂
21	やせ(るい痩)	保坂
22	悪心・嘔吐	保坂
23	便 秘	保坂
24	下 痢	保坂
25	歯 痛	保坂
26	咳嗽と喀痰	保坂
27	呼吸困難	保坂
28	鼻閉・鼻汁	保坂
29	脱毛症	保坂
30	耳鳴り・難聴	保坂
31	膝 痛	保坂
32	定期試験	保坂

【授業外学修】 予習:講義に臨む前に、該当する教科書・資料等をしっかり読んでおくこと。(約1時間)

復習:授業内容を整理し、理解する振り返りを行うこと。(約1時間)

【教科書名】 「新版 東洋医学臨床論〈はりきゅう編〉」(南江堂) 「図解 スポーツ鍼灸臨床マニュアル」(医歯薬出版)

【参考図書】

【評価基準】 中間試験50% 定期試験50%

科目名: 東洋医学臨床論Ⅱ(後期)

授業形態: 講義

担当教員: 保坂 秀樹

【授業概要】 各症候において実践的に臨床で使用される経穴、配穴、特効穴等を学習する。

【到達目標】 臨床実習や卒業後に治療に携わる際、患者様の主訴が鍼灸の適応か不適応かの判断ができるようになる。

【授業の進め方】

回数	授 業 内 容	担当教員
1	関節痛	保坂
2	頸肩腕痛	保坂
3	上肢痛	保坂
4	肩関節痛	保坂
5	排尿障害	保坂
6	ED(勃起障害)	保坂
7	疲労と倦怠感	保坂
8	発熱	保坂
9	冷え	保坂
10	のぼせ	保坂
11	浮腫	保坂
12	掻痒感(痒み)、肌荒れ、発疹	保坂
13	顔面麻痺	保坂
14	歩行異常	保坂
15	口 渴	保坂
16	中間試験	保坂
17	出血傾向	保坂
18	女性特有の症候 概説	保坂
19	月経異常	保坂
20	性器出血	保坂
21	帯 下	保坂
22	不妊症	保坂
23	つわり	保坂
24	骨盤位(逆子)	保坂
25	乳汁分泌不全	保坂
26	小児特有の症候 概説	保坂
27	疳の虫	保坂
28	夜尿症	保坂
29	小児喘息(小児気管支喘息)	保坂
30	老人特有の症候 概説	保坂
31	認知症	保坂
32	定期試験	保坂

【授業外学修】 予習:講義に臨む前に、該当する教科書・資料等をしっかり読んでおくこと。(約1時間)

復習:授業内容を整理し、理解する振り返りを行うこと。(約1時間)

【教科書名】 「新版 東洋医学臨床論〈はりきゅう編〉」(南江堂) 「図解 スポーツ鍼灸臨床マニュアル」(医歯薬出版)

【参考図書】

【評価基準】 中間試験50% 定期試験50%

科目名: はり・きゅう応用学(前期)

授業形態: 講義

担当教員: 宮内 真喜子

通年2単位

【授業概要】 講義、実技を通し、患者さんとのコミュニケーションにおいて必要な傾聴力・発話力・意図を読み取るスキルのレベルアップを図る。また、現場で遭遇する場面を想定し敬語や電話応対、茶菓接待、面接などの接遇を実践練習の中で身につける。

【到達目標】 コミュニケーションも大切な治療の一つと認識し、臨床家としてクライアントの気持ちに添える人間力とコミュニケーション力を身につける。

【授業の進め方】

回数	授 業 内 容	担当教員
1	自己紹介・自己分析	宮内
2	コミュニケーションゲーム① マシュマロタワー	宮内
3	コミュニケーションゲーム② パズルで共同作業	宮内
4	エゴグラム	宮内
5	VAK優位言語	宮内
6	コミュニケーションとは	宮内
7	治療におけるコミュニケーション力	宮内
8	コミュニケーション力① 信頼の段階(ミラーリング・ペーシング)	宮内
9	コミュニケーション力② 傾聴の段階(うなづき相づち・オウム返し)	宮内
10	コミュニケーション力③ 傾聴の段階(質問法・要約・共感の言葉)	宮内
11	コミュニケーション力④ 傾聴の段階(バックトラッキング)	宮内
12	コミュニケーション力⑤ 伝える段階(結論・目的・5W1H)	宮内
13	コミュニケーション力⑥ 伝える段階(メタファー)	宮内
14	コミュニケーション力⑦ 相互理解の段階(ポジションチェンジ)	宮内
15	コミュニケーション力⑧ 相互理解の段階(メタモデル)	宮内
16	定期試験	宮内

【授業外学修】 予習:講義に臨む前に、該当する教科書・資料等をしっかり読んでおくこと。(約1時間)

復習:授業内容を整理し、理解する振り返りを行うこと。(約1時間)

【教科書名】 配布資料

【参考図書】

【評価基準】 定期試験100%

科目名: はり・きゅう応用学(後期)

授業形態: 講義

担当教員: 宮内 真喜子

【授業概要】 講義、実技を通し、患者さんとのコミュニケーションにおいて必要な傾聴力・発話力・意図を読み取るスキルのレベルアップを図る。また、現場で遭遇する場面を想定し敬語や電話応対、茶菓接待、面接などの接遇を実践練習の中で身につける。

【到達目標】 コミュニケーションも大切な治療の一つと認識し、臨床家としてクライアントの気持ちに添える人間力とコミュニケーション力を身につける。

【授業の進め方】

回数	授 業 内 容	担当教員
1	接遇① 敬語	宮内
2	接遇② 敬語	宮内
3	接遇③ 電話応対	宮内
4	接遇④ 案内の仕方	宮内
5	接遇⑤ 席次	宮内
6	鍼灸という仕事	宮内
7	セラピストとしての在り方・心がまえ	宮内
8	履歴書の書き方①	宮内
9	履歴書の書き方②	宮内
10	就職面接① 面接の種類と基礎的マナー	宮内
11	就職面接② よく聞かれる質問	宮内
12	就職面接③ 対面練習	宮内
13	就職面接④ 対面練習	宮内
14	就職面接⑤ オンライン練習	宮内
15	就職面接⑥ オンライン練習	宮内
16	定期試験	宮内

【授業外学修】 予習:講義に臨む前に、該当する教科書・資料等をしっかり読んでおくこと。(約1時間)

復習:授業内容を整理し、理解する振り返りを行うこと。(約1時間)

【教科書名】 配布資料

【参考図書】

【評価基準】 定期試験100%

科目名: 応用はり・きゅう実技Ⅰ(前期)

授業形態: 実習

担当教員: 益山 智哉

通年2単位

【授業概要】 鍼灸臨床に多い疾患に注目し、二人組になり医療面接・検査法・治療法を反復練習し、技術の習得に努める。

【到達目標】 基礎的な疾患をベースに治療・医療面接を反復練習し、臨床に活用する。

【授業の進め方】

回数	授 業 内 容	担当教員
1	東洋医学的医療面接の仕方①	益山
2	東洋医学的医療面接の仕方②	益山
3	東洋医学的医療面接の仕方③	益山
4	各種「頸肩腕痛」の医療面接・治療①	益山
5	各種「頸肩腕痛」の医療面接・治療②	益山
6	各種「頸肩腕痛」の医療面接・治療③	益山
7	各種「肩関節痛」の医療面接・治療①	益山
8	各種「肩関節痛」の医療面接・治療②	益山
9	各種「肩関節痛」の医療面接・治療③	益山
10	各種「上肢痛」の医療面接・治療①	益山
11	各種「上肢痛」の医療面接・治療②	益山
12	各種「上肢痛」の医療面接・治療③	益山
13	各種「腰下肢痛」の医療面接・治療①	益山
14	各種「腰下肢痛」の医療面接・治療②	益山
15	各種「腰下肢痛」の医療面接・治療③	益山
16	定期試験	益山

【授業外学修】 予習:講義に臨む前に、該当する教科書・資料等をしっかり読んでおくこと。(約1時間)

復習:授業内容を整理し、理解する振り返りを行うこと。(約1時間)

【教科書名】 「新版 東洋医学臨床論〈はりきゅう編〉」「はりきゅう基礎技術学」(南江堂) 「新版 経絡経穴概論」(医道の日本社)

【参考図書】

【評価基準】 定期試験100%

【実務経験】 はり師きゅう師養成施設教員資格、病院または施術所における臨床5年以上、週1回学外臨床参加

科目名: 応用はり・きゅう実技Ⅰ(後期)

授業形態: 実習

担当教員: 益山 智哉

【授業概要】 鍼灸臨床に多い疾患に注目し、二人組になり医療面接・検査法・治療法を反復練習し、技術の習得に努める。

【到達目標】 基礎的な疾患をベースに治療・医療面接を反復練習し、臨床に活用する。

【授業の進め方】

回数	授 業 内 容	担当教員
1	各種「膝痛」の医療面接・治療①	益山
2	各種「膝痛」の医療面接・治療②	益山
3	各種「めまい・耳鳴り」の医療面接・治療①	益山
4	各種「めまい・耳鳴り」の医療面接・治療②	益山
5	各種「肩こり」の医療面接・治療①	益山
6	各種「肩こり」の医療面接・治療②	益山
7	各種「不眠・倦怠感」の医療面接・治療①	益山
8	各種「不眠・倦怠感」の医療面接・治療②	益山
9	各種「哮喘・咳嗽」の医療面接・治療①	益山
10	各種「哮喘・咳嗽」の医療面接・治療②	益山
11	各種「鼻閉・鼻汁」の医療面接・治療①	益山
12	各種「鼻閉・鼻汁」の医療面接・治療②	益山
13	各種「下痢・便秘」の医療面接・治療①	益山
14	各種「下痢・便秘」の医療面接・治療②	益山
15	総 括	益山
16	定期試験	益山

【授業外学修】 予習:講義に臨む前に、該当する教科書・資料等をしっかり読んでおくこと。(約1時間)

復習:授業内容を整理し、理解する振り返りを行うこと。(約1時間)

【教科書名】 「新版 東洋医学臨床論〈はりきゅう編〉」「はりきゅう基礎技術学」(南江堂) 「新版 経絡経穴概論」(医道の日本社)

【参考図書】

【評価基準】 定期試験100%

【実務経験】 はり師きゅう師養成施設教員資格、病院または施術所における臨床5年以上、週1回学外臨床参加

科目名: 応用はり・きゅう実技Ⅱ(前期)

授業形態: 実習

担当教員: 保坂 秀樹

通年2単位

【授業概要】 鍼灸臨床に多い五大疾患に注目し、二人組で医療面接・検査法・治療法を反復練習し、技術の習得に努める。

【到達目標】 基礎的な疾患をベースに医療面接・治療を反復練習し、臨床に活用する。

【授業の進め方】

回数	授 業 内 容	担当教員
1	血圧測定(説明と実技—毎回授業開始時に血圧を測る)	保坂
2	医療を受けてのアンケート	保坂
3	カルテの記載事項の説明	保坂
4	医療面接について(医療面接の実際と技法)	保坂
5	医療面接について(実際に生徒同士で初診を設定に医療面接)	保坂
6	腰痛の医療面接の進め方	保坂
7	各種「腰痛」の医療面接・治療	保坂
8	各種「腰痛」の医療面接・治療	保坂
9	各種「腰痛」の医療面接・治療	保坂
10	各種「腰痛」の医療面接・治療	保坂
11	坐骨神経痛の医療面接の進め方	保坂
12	各種「坐骨神経痛」の医療面接・治療	保坂
13	各種「坐骨神経痛」の医療面接・治療	保坂
14	各種「坐骨神経痛」の医療面接・治療	保坂
15	各種「坐骨神経痛」の医療面接・治療	保坂
16	定期試験	保坂

【授業外学修】 予習:講義に臨む前に、該当する教科書・資料等をしっかり読んでおくこと。(約1時間)

復習:授業内容を整理し、理解する振り返りを行うこと。(約1時間)

【教科書名】 配布資料 「整形外科テストポケットマニュアル 臨床で使える徒手の検査法86」(医歯薬出版)

【参考図書】

【評価基準】 定期試験100%

科目名: 応用はり・きゅう実技Ⅱ(後期)

授業形態: 実習

担当教員: 保坂 秀樹

【授業概要】 鍼灸臨床に多い五大疾患に注目し、二人組で医療面接・検査法・治療法を反復練習し、技術の習得に努める。

【到達目標】 基礎的な疾患をベースに医療面接・治療を反復練習し、臨床に活用する。

【授業の進め方】

回数	授 業 内 容	担当教員
1	膝関節痛の医療面接の進め方	保坂
2	各種「膝関節痛」の医療面接・治療	保坂
3	各種「膝関節痛」の医療面接・治療	保坂
4	各種「膝関節痛」の医療面接・治療	保坂
5	各種「膝関節痛」の医療面接・治療	保坂
6	頸・上肢痛の医療面接の進め方	保坂
7	各種「頸・上肢痛」の医療面接・治療	保坂
8	各種「頸・上肢痛」の医療面接・治療	保坂
9	各種「頸・上肢痛」の医療面接・治療	保坂
10	各種「頸・上肢痛」の医療面接・治療	保坂
11	肩関節周囲炎の医療面接の進め方	保坂
12	各種「肩関節周囲炎」の医療面接・治療	保坂
13	各種「肩関節周囲炎」の医療面接・治療	保坂
14	各種「肩関節周囲炎」の医療面接・治療	保坂
15	各種「肩関節周囲炎」の医療面接・治療	保坂
16	定期試験	保坂

【授業外学修】 予習:講義に臨む前に、該当する教科書・資料等をしっかり読んでおくこと。(約1時間)

復習:授業内容を整理し、理解する振り返りを行うこと。(約1時間)

【教科書名】 配布資料 「整形外科テストポケットマニュアル 臨床で使える徒手の検査法86」(医歯薬出版)

【参考図書】

【評価基準】 定期試験100%

科目名: 臨床はり・きゅう実技Ⅰ(トリガーポイント療法)(前期) 授業形態: 実習 担当教員: 崎野 雄樹
 通年2単位

【授業概要】 下肢の筋の起始停止を確認し、目的の筋を動かし、鍼灸施術に応用する。

【到達目標】 鍼灸施術を行う上で、目的の筋に刺鍼できるように的確な触察能力を身につける。

【授業の進め方】

回数	授 業 内 容	担当教員
1	刺鍼練習とパルスの使い方	崎野
2	下腿部(下腿伸筋群の触察と通電)①	崎野
3	下腿部(下腿伸筋群の触察と通電)②	崎野
4	下腿部(下腿の屈筋群の触察と通電)①	崎野
5	下腿部(下腿の屈筋群の触察と通電)②	崎野
6	大腿部(大腿四頭筋の触察と通電)①	崎野
7	大腿部(大腿四頭筋の触察と通電)②	崎野
8	大腿部(ハムストリングスの触察と通電)①	崎野
9	大腿部(ハムストリングスの触察と通電)②	崎野
10	大腿部(大腿筋膜張筋・縫工筋の触察と通電)①	崎野
11	大腿部(大腿筋膜張筋・縫工筋の触察と通電)②	崎野
12	大腿部(薄筋・長内転筋・大内転筋の触察と通電)①	崎野
13	大腿部(薄筋・長内転筋・大内転筋の触察と通電)②	崎野
14	前期の復習	崎野
15	試験対策	崎野
16	定期試験	崎野

【授業外学修】 予習:講義に臨む前に、該当する教科書・資料等をしっかり読んでおくこと。(約1時間)

復習:授業内容を整理し、理解する振り返りを行うこと。(約1時間)

【教科書名】 配布資料

【参考図書】 「骨格筋の形と触察法」(大峰閣) 「プロメテウス解剖学コアアトラス」(医学書院)

【評価基準】 定期試験100%

【実務経験】 はり師きゅう師養成施設教員資格、病院または施術所における臨床5年以上、週1回学外臨床参加

科目名: 臨床はり・きゅう実技Ⅰ(トリガーポイント療法)(後期) 授業形態: 実習 担当教員: 崎野 雄樹・北川 洋志

【授業概要】 肩甲帯・上肢の筋の起始停止を確認し、目的の筋を動かし、鍼灸施術に応用する。

【到達目標】 鍼灸施術を行う上で、目的の筋に刺鍼できるように的確な触察能力を身につける。

【授業の進め方】

回数	授 業 内 容	担当教員
1	腰部(腰方形筋、脊柱起立筋の触察と通電)①	崎野
2	腰部(腰方形筋、脊柱起立筋の触察と通電)②	崎野
3	肩甲帯(広背筋・大円筋の触察と通電)①	崎野
4	肩甲帯(広背筋・大円筋の触察と通電)②	崎野
5	肩甲帯(小円筋・棘下筋の触察と通電)①	崎野
6	肩甲帯(小円筋・棘下筋の触察と通電)②	崎野
7	肩甲帯(僧帽筋・棘上筋の触察と通電と通電)①	崎野
8	肩甲帯(僧帽筋・棘上筋の触察と通電と通電)②	崎野
9	肩甲帯(三角筋の触察と通電)①	崎野
10	肩甲帯(三角筋の触察と通電)②	崎野
11	前腕部(腕橈骨筋、尺側手根屈筋の触察と通電)①	崎野
12	前腕部(腕橈骨筋、尺側手根屈筋の触察と通電)②	崎野
13	後期の復習	崎野
14	トリガーポイントはりきゅう療法①	北川
15	トリガーポイントはりきゅう療法②	北川
16	定期試験	崎野

【授業外学修】 予習:講義に臨む前に、該当する教科書・資料等をしっかり読んでおくこと。(約1時間)

復習:授業内容を整理し、理解する振り返りを行うこと。(約1時間)

【教科書名】 配布資料

【参考図書】 「骨格筋の形と触察法」(大峰閣) 「プロメテウス解剖学コアアトラス」(医学書院)

【評価基準】 定期試験100%

【実務経験】 はり師きゅう師養成施設教員資格、病院または施術所における臨床5年以上、週1回学外臨床参加(崎野)

科目名: 臨床はり・きゅう実技Ⅱ(後期)

授業形態: 実習

担当教員: 住吉 光輝・原 奈摘美
4単位

【授業概要】 学習したことを基礎として、外来患者への施術を行う。

【到達目標】 外来患者への施術を通して、臨床技術だけでなく、医療従事者としての心構えや患者様への対応なども身に付ける。
「医療従事者には何が必要か」と、常に自分へ目標や課題を設けて実習に取り組む。

【授業の進め方】

回数	授 業 内 容	担当教員
1・2	医療面接・評価・施術	住吉
3・4	医療面接・評価・施術	原
5	実習前確認試験	住吉・原
6・7	医療面接・評価・施術	住吉
8・9	医療面接・評価・施術	原
10・11	外来施術(施術後のフィードバックを含む)	住吉
12・13	外来施術(施術後のフィードバックを含む)	原
14・15	外来施術(施術後のフィードバックを含む)	住吉
16・17	外来施術(施術後のフィードバックを含む)	原
18・19	外来施術(施術後のフィードバックを含む)	住吉
20・21	外来施術(施術後のフィードバックを含む)	原
22・23	外来施術(施術後のフィードバックを含む)	住吉
24・25	外来施術(施術後のフィードバックを含む)	原
26・27	外来施術(施術後のフィードバックを含む)	住吉
28・29	外来施術(施術後のフィードバックを含む)	原
30・31	外来施術(施術後のフィードバックを含む)	住吉
32・33	外来施術(施術後のフィードバックを含む)	原
34・35	外来施術(施術後のフィードバックを含む)	住吉
36・37	外来施術(施術後のフィードバックを含む)	原
38・39	外来施術(施術後のフィードバックを含む)	住吉
40・41	外来施術(施術後のフィードバックを含む)	原
42・43	外来施術(施術後のフィードバックを含む)	住吉
44・45	外来施術(施術後のフィードバックを含む)	原
46・47	外来施術(施術後のフィードバックを含む)	住吉
48・49	外来施術(施術後のフィードバックを含む)	原
50・51	外来施術(施術後のフィードバックを含む)	住吉
52・53	外来施術(施術後のフィードバックを含む)	原
54・55	外来施術(施術後のフィードバックを含む)	住吉
56・57	外来施術(施術後のフィードバックを含む)	原
58・59	外来施術(施術後のフィードバックを含む)	住吉
60・61	外来施術(施術後のフィードバックを含む)	原
62	定期試験(臨床実習前試験を兼ねる)	住吉・原

【授業外学修】 予習:実習に臨む前に、カルテや該当する教科書・資料等をしっかり読んでおくこと。
復習:実習内容を整理し、理解する振り返りを行うこと。

【教科書名】

【参考図書】 「ポケット鍼灸臨床ガイド」(森ノ宮医療学園出版部)

【評価基準】 定期試験60% レポート20% 実習態度20%

【実務経験】 はり師きゅう師養成施設教員資格、病院または施術所における臨床5年以上、週1回学外臨床参加